

輪島市復興まちづくり計画策定に係る住民懇談会（鳳至・海士・輪島崎地区）
結果概要

日 時 令和6年11月9日(土) 10:00～11:30

場 所 輪島消防署 2Fホール

出席者 住民側：21名

行政側：輪島市 坂口市長、中山副市長、小川教育長、中前総務部長、山本企画振興部長、池腰市民生活部長、刀祢健康福祉部長、永井産業部長、福尾建設部長、田川建設部技監、木下教育部長、上島まちづくり推進課長

事務局：田中復興推進課長、一本松主幹

① 市長挨拶

（坂口市長）

- 本日はご出席いただきありがとうございます。カニ漁が再開したため海士町・輪島崎の参加者が少ないのと思う。
- 全国から多くの支援・ボランティアの協力により徐々に復興が進んでいる。課題を解決しながら震災前よりももっと豊かで暮らしやすい輪島を作っていきたい。
- 今日は復興まちづくりの指針となる計画について、概略を説明させていただく。計画の検討にあたってはこれまで5回の会議を開催しているところであるが、今後、2回開催し、12月には計画案をとりまとめたいと考えている。

② 復興まちづくり計画の基本構想（案）等の説明

（市長より資料に沿って説明）

③ 意見交換・質疑応答

住 民：震災・水害など対応いただき感謝申し上げます。健康状況について、予期せぬ带状疱疹がでている方がいる。そのワクチン接種の補助などを検討いただけないか。

刀祢健康福祉部長：带状疱疹については50歳以上で疾患が多いと聞いている。ワクチン接種は50歳以上が有効と聞いており、国・県と連携して対応したい。

住 民：観光や生業に対する復興ビジョンについて、輪島に泊まる場所があつてこそだと思ふ。輪島温泉郷は県の6温泉に指定されている。和倉温泉が一丁目一番地として注目されているが、輪島温泉郷について明確に示されていない、関係人口増加のためにも輪島に宿泊施設は不可欠であるほか、震災・水害で離れられた人が戻るためにも宿泊施設が不可欠であり観光に含まれているとは思ふが、輪島温泉郷の固有名詞を入れていただき県へも働きかけてほしい。

市 長：まさしく宿泊施設は観光面で重要であり、一日も早い復旧を期待している。県の生業再建の支援に加え、輪島市の上乗せを行っており、通常は1/4を自己負担することになるが、1/8の負担となるようにしている。宿泊施設は再建に多くの費用がかかることから、さらに上乗せできないかと考えている。ルートインの2棟のうち、傾いた1棟の復旧工事を始めたと聞いている。輪島温泉郷という名称も苦勞して獲得した経緯があるため、計画の中に言葉をしっかりと入れて発信していきたい。

永井産業部長：まずは県の生業再建補助金を活用いただきたいが、輪島市内では5件程度しか活用されていないため、今後さらに活用されることを期待したい。

住 民：温かい言葉に感謝する。今後とも支援をお願いしたい。

住 民：海士町のお宮の隣に家がある。一部損壊で居住しているが、後ろの崖地に亀裂が入っていて、雨などで警報がなって怖い。一軒しか残っていない住宅でどこにも行けない状況であるため、崖地の整備が進むのか教えてほしい。

田中復興推進課長：懇談会終了後に個別にお話を伺う。

住 民：公費解体は地権者が次のステップに移るためのものだと思うが、住民の意見を十分に聞いて再建にむけた検討をお願いしたい。輪島崎で1件、解体後の土地が窪地として残されている部分があり、水が溜まって危ないし衛生面でも良くない。しっかりと対応してほしい。

田川建設部技監：解体後の敷地の状況についての質問であるが、公費解体については着工する際に所有者・解体業者・コンサルの3者で打ち合わせを行い、完了後も立ち合い、確認を行う。今の場合、工事のやり方を所有者の方と話しをして、土地の仕上がりが打合せさせていただく。公費解体は所有者の意向に沿うことになるが、損壊した建物・工作物は解体するが、敷地の跡地処理までは行えない。一方、例外として、例えば、解体業者が工事をする際に地面が柔らかく解体ができない場合は採石を引くことや、地下室がある建物では隣に影響するため地下室を壊せない場合は埋め戻しのため採石を入れるということもある。しかし、何もない場合は採石を入れる際は個人負担になる。公費解体は壊すまでで、その後の対応はできない。

住 民：説明の内容はわかっているが、一箇所水が溜まって困っている土地があるが、地権者に連絡がつかないため、住民から意見が多く出ている。水が溜まらないように処理してほしい。

田川建設部技監：所有者の方と話をさせていただく。

住 民：地区から人がいなくなったため、町会費を集められない状況である。このような中、公費解体の際に街灯や消火栓を外す必要があり、できる限り残したいため、町会で外さないように業者の方に依頼はしているが、どうしても転居するほかにない場合もある。その際、再度整備する際に補助を考えられないか。

田川建設部技監：今の話は、公費解体の際に町内の防犯灯や立ち上がっている消火栓ということかと思うが、実態を確認する。

住 民：できる限り費用負担がないように話をして対応しているが、街灯を戻すときの町会の費用負担を補助してほしい。

田川建設部技監：箇所数と実態などを把握したい。

市 長：解体した後、直すときの補助ということかと思うが、補助メニューがあるほか、2割以上減少した場合は電気代を減額するメニューもあるため、相談いただきたい。

住 民：鳳来山公園の工事はいつ終わるのか。移住したい住民もいるがそういう話を教えてほしい。

永井産業部長：鳳来山公園については林野庁の直轄工事で行っており、見通しは示されていない。

上島まちづくり推進課長：移住については、被害の程度によって異なるが、自力で再建が困難な場合は災害公営住宅への入居などの手法もあるかと思う。個別の状況に応じて相談していただきたい。地区全体でまとまって移転したい場合は別の対応となるため、そういった状況も含めて相談いただきたい。

住 民：移転についてまとまった話はできていない状況であるが、まとまったら市として対応してくれるのか。

上島まちづくり推進課長：地区でまとめても、個別でも相談いただければ、その内容に応じた支援メニューと一緒に検討したい。

市 長：林野庁で調査解析しており、早く見通しを出してもらおうようお願いしていく。その状況を踏まえて皆さん判断されることになると思う。

住 民：住宅について、仮設住宅の適正な維持管理とは具体的にどのようなことか。また、公営住宅を作ってほしいと思うが、自分の周りにも輪島から離れた人が多い。戻ってきてほしいと思う。年齢的にも経済的に住宅の再築は難しいと感じているので公営住宅を多く確保してほしい。具体的にどのような計画を考えているのかお聞きしたい。

市 長：仮設住宅の適正な管理とは、狭い中ではあるが、できるかぎり生活の不便なところを改良していくということである。お住まいの方の中には高齢者や要配慮者もいらっしゃるため、サポートセンターを来年の4月までに5箇所完成を目指している。仮設住宅にいても安心して暮らせるようにしていきたい。

災害公営住宅の建築は皆さんの要望を聞きながら確保していきたい。場所によっては平屋で景観に配慮した住宅や4階建てタイプなど場所に応じて建てていく形になるが、要望される全戸住まえるように整備していきたい。

住 民：新聞を見ると人口が大きく減少しているとの報道がある。これは災害を契機として仕方ないが、災害前から人口が減っていた。朝市や漁業、漆器などを復旧しても、この減り具合は変わらないと思う。なぜ減るか考えると、若者が輪島よりも、金沢に出ていくことを選ぶためであり、そこを考える必要と思うが、市長はどう考えるか。

市 長：人口減少は日本全体のことなので簡単ではない。石川県全体でも減っている状況である。若い人は都会への憧れ、初任給が高い、色々な仕事があるなどの理由で市外へ出ていく部分がある。田舎はお金がかからないが給料が低いという実情があり、都会へ流れてしまう。こういったことを単純に数値で比較すると若者は流出する。こういった取組が一番思うのは、自然環境に恵まれた良い環境に住めるが、収入がないと若い人は出て行ってしまふ。農業でも、漁業でも、漆器業でも、年間1千万円稼げるといえば若者は残る。稼げる産業を作っていく必要がある。輪島丸の従業員が残っているのは給料が良いからである。産業界と一緒に、行政も頑張っていく必要がある。ただし、給料を払うには、輪島塗でいえば、海外に出ていって、購買力のある人にチャレンジして収益を増やすことが必要である。輪島の田舎でいえば、富裕層に対応した観光業でないといけない。インバウンドに力をいれ震災

前から努力して徐々に成果がでてきたところで震災がおこり残念であった。一方、インバウンドに対応するホテルが輪島市にはないということで、奥能登に来た場合は百楽荘やランプの宿に泊まっているようである。輪島にないと言われたのはショックであった。外国人、富裕層ばかりでは問題であるが、これらに対応した観光も大切であり、そういったサービスや、買ってもらえる品物を作っていく必要がある。リーズナブルで良い商品も必要であるが、輪島市では沢山の量は作れないため、富裕層をターゲットにした商品もつくる必要がある。

また、来てくれた人にお金を出す施策もあるが、これは効果が低いため、生きがいを感じられるような産業を増やして、若者を増やしていきたい。

住 民：人口が増えたところもある。野々市とかは増えている。住まなきゃならない状況を作るべきである。企業を呼んでくればその社員が住むことになる。そのことを考えてほしい。風力発電の話もあったが、漁師の反対も無かったと聞く。風力発電施設で従業員が住むことになる。大きな企業誘致ができればいいと思う。

市 長：企業誘致はどこも考えているが、大きな企業が来れば雇用がうまれる。ある意味良いが、ある意味悪い面もあり、一つの企業で雇用が確保できるわけではない。風力発電の誘致はしっかり行うつもりであり、これは30年以上にわたって雇用確保等につながると思う。

製造行等の企業については、加賀の方に多い。これは、工場は水を多く使うが、能登よりも豊富で安く、電気代も安い。能登では水道料や電気代が高く、そういった企業はこない。また、野々市市、かほく市は金沢市周辺のベッドタウンのため人口が増えている。これらの自治体などでは工場が来てくれても、働く人がいないため、人口が増えないということもあるようであるが、しっかりと努力していきたい。

住 民：集会場の再建に補助が出ると聞いている。宅田集会場を自分たちで直したが、その補助はいただけるか。

市 長：対象にしたいと考えている。

住 民：仮設住宅に大沢から持ってきた卓球台があり、毎日15から20人くらいが卓球を楽しんでいる。楽しい生活をしているが、炊き出しに来てくれている。輪島市内の他の仮設住宅でもそんな対応ができているのかお聞きしたい。

中前総務部長：炊き出しもしっかりとやっている。

以 上

